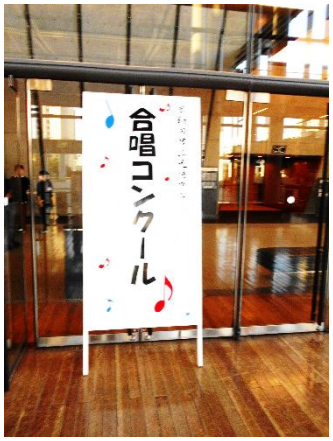
校長室だより 第13号

校長　瀧　俊彰

感動の合唱コンクール!
心洗われた時間と空間でした。



１１月１１日（金）第３０回光陽中学校合唱コンクールが南海浪切ホールで行われました。この合唱コンクールに向けて長い時間かけて練習し、完成したそれぞれのクラスの課題曲と自由曲が発表されました。また３年生による全員合唱が披露されました。

コンクールが始まって終わるまで本当に心が洗われるような時間と空間でした。合唱を発表する側と鑑賞する側、舞台と観客席が一体となっていました。各クラスの心のこもった合唱に熱い、またさわやかな感動をいただきました。そして、長い時間かけて作り上げた「クラスのまとまり」を発表してくれたことを大変うれしく思います。鑑賞する態度も大変立派でした。特に３年生の各クラスの合唱と全員合唱は見ている人たちをまさに感動させるものでありました。私にとっても初めての光陽中学校の合唱コンクールでした。「光陽の合唱コンクールは素晴らしい」という評判は聞いていましたがこれほどまでにすごい取り組みであると感激しました。

開会にあたり「コンクールである以上結果はついてきますが、結果以上に今までの練習の過程を大切にしてほしい。」と話しました。結果よりもこれまでの過程をそれぞれの心にとどめて「頑張ったこと」をクラスの全員で思い出として共有してください。どのクラスも結果以上の「達成感」と「所属感」を味わってくれたことと思います。頑張った自分をもう一度褒めてください。そしてこの合唱コンクールで学んだこと、経験したことを今後の生活に活かしてください。

さて、『伝統』とはなんでしょうか。３年生全員の最後の合唱コンクールにかける思いが感じられました。「最後の思い」を１，２年生のみなさんもしっかり聴いて、見てくれたはずです。３年生の思いが１・２年生に伝わることが光陽中学校の合唱コンクールの伝統であると強く感じました。これからも良き伝統がいつまでも引き継がれていくことを願います。

最後になりますが、会場まで足を運んでいただき参観いただいたたくさんの保護者の方々にお礼申し上げます。生徒たちの頑張る姿をしっかり見ていただきありがとうございました。

令和４年１１月１６日　岸和田市立光陽中学校